漁協通信

第 20 号
H27.7.17 発行

大井川(非)漁業協同組合
島田市中溝４丁目 2-5
TEL（0547）37-3048
ﾃﾚﾎﾝｻｰﾋﾞｽ（釣り情報）
（0547）３２−９２４０
（携帯サイト）

本流、なかなか友釣りできず

６月１日に解禁した大井川本流は、河床の状態が悪く鮎も小さめで、友釣りは１か月余り遅れている印象です。また、７月に入ってからの雨や台風１１号の影響で上流部ダムが放水を開始し、濁水がいつまで続くのか心配されるところです。



① 遡 上

採捕数量５３０ｋｇを予定した河口の稚あゆ採捕は、５月１０日に４２５ｋｇ（▲105 kg）をもって終了しました。遡上期の４月は濁水の影響を受けたのか稚鮎の群れが少なく、大きさも５～８ｃｍとやや小さめでした。

② 放 流

例年４月初旬から５月にかけて順次行われる種苗センター産の稚鮎放流も濁水の影響を受け、予定より１か月遅れて５月１１日から実施し、天候や河川状況を見ながら駆け足の放流となりました。





2015 年鮎放流　　計 2,000kg（予定）

月日	種別（平均重量）	数量	場所
４/２～２５	河口産　（３～４ｇ）	３００ｋｇ	伊久美川（小川～川口）
５/１１	人工ふ化（６～１０ｇ）	３００ｋｇ （３０ｋｇ）	本流（谷口橋、鎌塚、北中前） 大代川２か所　※サービス分
５/２０	人工ふ化（１０ｇ～）	３００ｋｇ	本流（鍋島、鵜網、北中前）
５/２２	人工ふ化（１０ｇ）	２００ｋｇ	本流（神座、北中下流）
		１００ｋｇ	伊久美川　３か所
５/２８	人工ふ化（１０ｇ～）	３００ｋｇ	本流（鍋島上、神座、牛尾山鼻）
５/２９	人工ふ化（30ｇ～40ｇ）	３００ｋｇ	伊久美川 20 か所（中平～川口）
７／２２（予定）	人工ふ化（４０g）	１００ｋｇ	伊久美川
未定	予備	１００ｋｇ	

現在までに本流 1,100 kg、伊久美川 700 kg、大代川 30 kg、計 1,830ｋｇ（うち 30ｋｇｻｰﾋﾞｽ分、約 22 万尾、）を放流しました。河川が回復次第、本流と伊久美川に合わせて２００kg の追加放流を行う予定です。